



Handwritten text in the upper right corner, possibly a title or date, written in a cursive style.

慶應二年丙寅三月

果字州公松本淑花

密

宮嶋熊藏

早稲田大学図書館  
文書27  
B3

廣德二面黃

世居上山屬古便原寺中村系外先年上山之於而  
熟竟波以一身公用亦原以內密之西而應五百書  
西年之學業擅招名也

春後之神登此處遠近之階寺彼學陸氏先年余為之即今  
此處之山亦在東山之下其下亦有其著其極其內而料  
世居此處之山亦在東山之下其下亦有其著其極其內而料  
其公事之麻子之深其多成之夕極內之不表其極其內而  
其身而所其分其抑其多成其極其內之不表其極其內而  
其子亦極其分其抑其多成其極其內之不表其極其內而

三月十日

中村系外校

宮島海防

西伸此中... 表盤... 三月五日

花鳥... 此中... 三月五日

中村

宮島... 三月五日

三月五日

一... 宮島... 三月五日









興る非ざるは元稹の如く自ら大権を握り人心を  
轉り後輩にも功をなすは古に在り 唐の如くは  
と降く輩の如く一語を以て先達を罵るは  
美の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは  
多量の如く非ざるは米好は大人を嘲るは

長田屋より  
一丁五丁

其の如く非ざるは元稹の如く

大なる如く非ざるは元稹の如く

間 金子君より大板表初録の如く

又 此の如く非ざるは元稹の如く

其の如く非ざるは元稹の如く

其の如く非ざるは元稹の如く



其の如く非ざるは元稹の如く



